



## ■ショートコメント■

◆本作のテーマは、「“スーパーヒーロー”は実在するか?」。そして、その証明のため(?)に、①超頭脳の男ミスター・ガラス (サミュエル・L・ジャクソン)、②多重人格の男ケヴィン (ジェームズ・マカヴォイ)、③不死身の男デヴィッド・ダン (ブルース・ウィリス) が登場し、ケヴィンとデヴィッドによる“力の対決”を展開する。しかし、その対決は意外に迫力不足で退屈・・・?

他方、車椅子に座ったままのミスター・ガラスはこの2人を操っているわけだが、彼ら三人の共通点は「自分が人間を越える存在だと信じていること」らしい。しかし、それって一体ナニ?

◆M・ナイト・シヤマラン監督が本作にブルース・ウィリスを登場させたのは、本作を『アンブレイカブル』(00年)の後日譚とするためだが、そもそもその動機が不純(無意味)。今のシヤマラン監督はそんなにネタが不足しているの・・・?

◆ちなみに、本作のチラシには次のように紹介されている。すなわち、

『アンブレイカブル』の主人公デヴィッド・ダン&ミスター・ガラスと、24もの人格を持ち、最強の人格“ビースト”を秘めている男ケヴィンが結集した夢の映画プロジェクトがついに実現した!息を持つかせぬスリリングな展開と、あらゆる予測を覆す衝撃の結末——『シックス・センス』の鬼才シヤマラン監督が仕掛けたあまりにも巧妙な罠から、あなたもきっと抜け出すことができない。」

しかし、私にはバカバカしい限り。さて、あなたは?

2019 (平成31) 年1月28日記